

大阪川床「北浜テラス」 令和3～7年度(2021～2025年度) 実施報告

占有者 北浜水辺協議会

今回の事業評価について

都市・地域再生等利用区域において、占用許可を満了し継続する際には、事業の安定性などを確認するために、本審議会において、事業評価を実施している。

本事業は、R3年度より10年の許可を受けており、今回、その中間となる5年にあたることから、前回の事業評価以降の5年間の取組について、事業評価を行い、事業継続について審議を行う。

《事業評価の視点》

	評価項目
①	地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか
②	水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか
③	水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか
④	提案内容の実現性はあるか

都市・地域再生等利用区域の指定概要

■指定範囲

一級河川旧淀川（土佐堀川）の河川区域内で、下記4の図に示す区域。（北浜）

■北浜の位置づけ

北浜は、江戸時代の初期から両替商、米問屋、米仲買が集まる金融の中心地として栄え、また土佐堀川に面した一画は、川の眺望がよく、料亭や料理旅館が軒を連ね、小舟で乗り寄せ店に上がる光景が見られた。明治維新後、証券街として賑わったこのまちは、市電の開通による水運の衰退、川沿いの建物がオフィスビルに変わるなど、川との関わりを徐々に無くしていくこととなったが、最近、川を意識した店舗や事務所が増え、水辺を楽しむというまちづくりの機運が高まり、「川と街の連続性をつくりたい」、「大阪ならではの風物詩をつくりたい」との思いを共有した地域の発意のもと、大阪川床「北浜テラス」が始められている。こうした経緯を踏まえ、北浜は地域の方達の熱い思いに支えられ、今後とも水都大阪の拠点として期待される地域である。

■占用の許可を受けられる施設

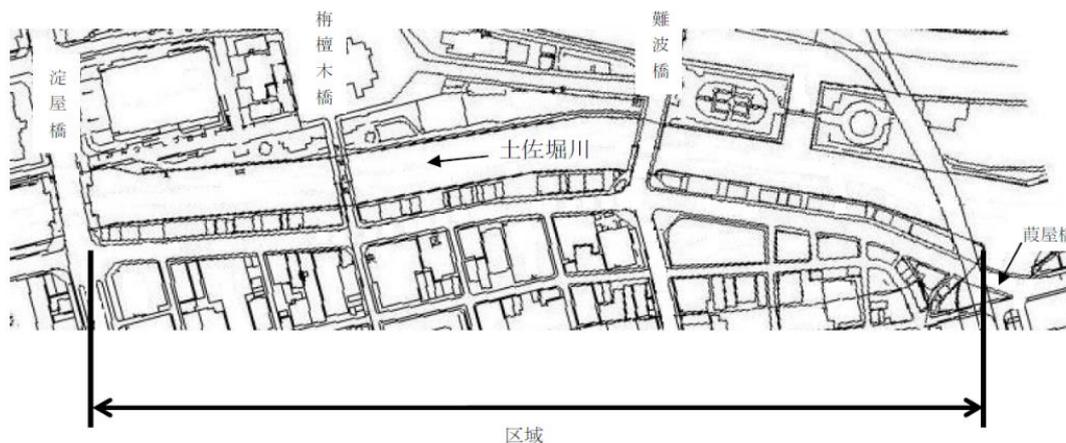
占用施設については、準則第二十二第3項に掲げる施設のうち遊歩道、船着き場、船舶係留施設、前述に掲げる施設と一体をなす照明・音響施設・切符売場・案内所、日よけ、川床、その他都市及び地域再生等のために利用する施設とする。

■占用主体

当該区域については、上記北浜の位置づけを踏まえた利活用を行うものとし、占用主体については、準則第二十二第4項第2号に掲げる者とする。

■区域の範囲

当該区域の範囲については、土佐堀川左岸の難波橋上流320m（東横堀川分派点）～淀屋橋とする。

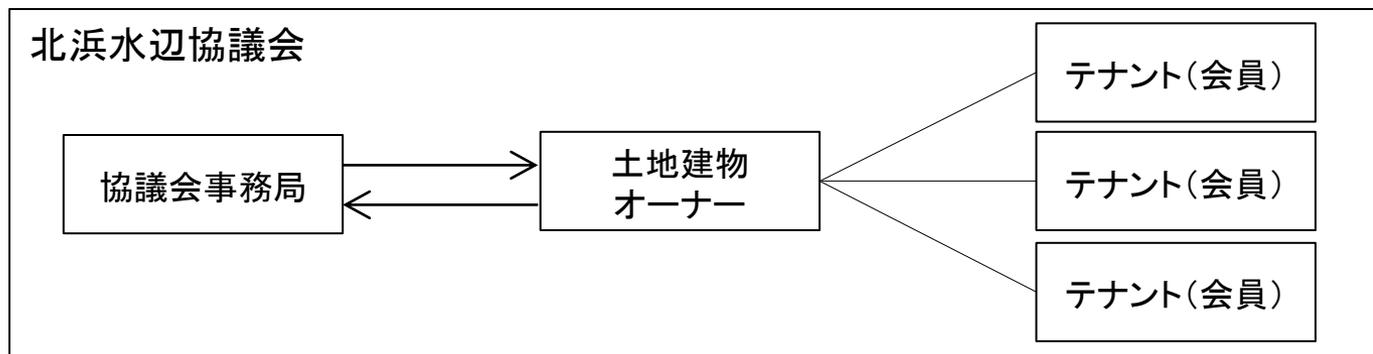


これまでの経過

■主な経過

2008年10月（平成20年）	川床の社会実験（1カ月）を実施
2009年 5月（平成21年）	川床の社会実験（3カ月）を実施
2009年 7月（平成21年）	北浜水辺協議会を設立
2009年 8月（平成21年）	水都大阪2009実行委員会が占用主体となり「北浜テラス」を実施
2009年 9月（平成21年）	第4回中之島水辺協議会⇒ 北浜水辺協議会を「北浜テラス」の事業者として承認
2009年11月（平成21年）	北浜水辺協議会が占用主体となり「北浜テラス」を実施
2012年 3月（平成24年）	都市・地域再生等利用区域 指定
2015年 2月（平成27年）	大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価） ⇒ 事業継続妥当
2018年 1月（平成30年）	大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価） ⇒ 事業継続妥当
2021年 1月（令和 3年）	大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価） ⇒ 事業継続妥当

■スキーム



現在(2021/R3～2025/R7)の取組状況、今後の取組計画 整理表

確認項目	現在(R3～R7)の取組状況、今後の取組計画
<p>①地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2009年常設開始から15年が経過し、18川床が設置され、水辺の日常の風景が形成されている。証券街であった北浜エリアのイメージが一新され、対岸の中之島公園や南側の北浜エリアとの回遊性が生まれている。 地域貢献のため水辺空間の全体清掃活動をR3～R7年度の間4回実施。 テラスと大阪水の回廊の拠点を直接舟運で結ぶ、キタハマミズムの運営を限定的に開始した。ハード設置、運用の準備を進めている。
<p>②水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は令和3年度にコロナの影響を受けピーク時の6割に減少したが、開放的な環境が好感を持たれ早い復活となった。令和4年度以降、過去最高の川床利用者数が続いている。令和3～7年度には、川床1軒(店舗)増の計18川床となっている。令和7年度に3棟のビル所有者移転に伴う川床所有者変更があった。 以前と同様、各店舗のテラス利用者数や参画テラス数の増加を追うより、エリアのイメージを向上させるイベントや情報発信の質を担保し継続していくことで、世界に誇る水都大阪の風景に貢献する。
<p>③水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種取材や視察への対応、サイトやSNSの再構築による情報発信を行っている。 国交省ミズベリング、水都大阪コンソーシアム、地元団体との連携による活動や人材交流を継続的に進めている。 会員の協議会運営への理解や参加を図るため、会員へのヒアリングを実施し、課題解決への動きにつなげた(親睦会、今後のルールのわかりやすい解説企画など)。
<p>④提案内容の実現性はあるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナの後、キタハマミズムの係留場の運営を限定的に開始した。水上安全協会との協議により、現在は限られた舟運会社のアクセスで試行中。 協議会の日常運営、クオリティコントロール、情報発信などは現体制で継続実施。

組織運営／協議会活動

総会(年1回)

理事会(毎月1回)

各班会議(適宜)

デザイン部会(適宜)

川床新設説明・打合せ(申込時)

各プロジェクト協議(適宜開催)

組織運営／協議会活動

①総会

2021.12.1 @北浜フォーラム コロナのため遅れてリアルで実施
2022.5.25 @北浜フォーラム
2023.6.2 @北浜フォーラム
2024.6.12 @北浜フォーラム
2025.6.11 @北浜フォーラム

②理事会

(R3年度)	(R4年度)	(R5)	(R6年度)	(R7年度)
2021.4.21メール	2022.4.2	2023.4.19	2024.4.17	2025.4.16
2021.5.19メール	2022.5.18	2023.5.17	2024.5.15	2025.5.21
2021.6.16メール	2022.6.15	2023.6.21(開催無)	2024.6.7	2025.6.11
(7月～9月・・・開催無)	2022.7.20	2023.7.19	2024.7.17	2025.7.16
2021.10.20理事会	2022.8.24	2023.8.23	2024.8.21	2025.8.20
2021.11.18理事会	2022.9.21	以後zoom併用	2024.9.14	2025.9.17
2021.12.15理事会	2022.10.19	2023.9.20	2024.10.16	2025.10.15
@北浜フォーラム	2022.11.16	2023.10.18	2024.11.20	@北浜フォーラム
2022.1.19ZOOM	2022.12.21	2023.11.15	2024.12.18	
2022.2.16ZOOM	2023.1.18	2023.12.20	2025.1.15	
2022.3.16ZOOM	2023.2.15	2024.1.17	2025.2.19	
	2023.3.15	2024.2.21	2025.3.19	
	@北浜フォーラム	2024.3.27	@北浜フォーラム	
		@北浜フォーラム		

テラスの設置・運営

(2021/R3年度) 17川床(16店舗、1展望台)

・Nビルと名紡ビルの接続のための新規川床(TOSA)

・ハウザービル・新規川床

「BrooklynRoastingCompany」「上田酒店デザイン事務所」

・Y'sピア北浜・新店舗 「サンドイッチパーラー47」



テラスの設置・運営

(2022/R4年度) 川床軒数変化なし
・昭和興産北浜ビル・新店舗
「212」



(2023/R5年度) 川床軒数変化なし

(2024/R6年度) 18川床(17店舗、1展望台)
・タカラ淀屋橋ビル・新規川床
「World Tea Lab.」



(2025/R7年度) 川床軒数変化なし
・Nビル、名紡ビル、石塚(旧石原)ビル
川床所有者変更(店舗変更なし)

テラス運営支援

(2021／R3年度)

- ・コロナの影響が大きくなりリアル会議は4回しか開催できず。メール理事会を開催。初めてZOOMによる理事会を開催。
- ・利用者数もコロナの影響で低迷。但し10月以降は他のまちより早期に復活し、店舗によっては去年を大きく上回る店も。
- ・コロナ関連の大阪府からの要請を各川川床に伝達
- ・保証金の新ルールを改定(累計分けを廃止して統一)

(2022／R4年度)

- ・コロナの感染者数は多かったものの、社会生活への影響は小さくなり、ZOOMやメールにしていた理事会は全てリアル会議化。
- ・テラス使い方説明会開催(担当者異動等への対応)

テラス運営支援

(2023／R5年度)

- ・全川床との覚書(2024年3月末期日)を更新。
初めて占用期間内での更新を迎えるに当たり、期間の更新を見定める簡素化した覚書を新たに作成し、全川床と更新締結を進める。
- ・所有権移転・運営方式変更に伴う覚書再締結
(所有・運営・管理が別会社のため権利・義務関係の整理)
- ・川床新設に関して障害となる大阪市フラワーポッド2ヶ所の撤去について、大阪市建設局公園緑化部緑化課と交渉、2024.1.10撤去完了。

(2024／R6年度)

- ・「川床期間外使用の届け」「火器利用に関する誓約書」について、提出の義務があいまいであった。来年以降は利用しない川床についても、その旨を記載して提出必須という形への変更を行う。

(2025／R7年度)

- ・諸ルールを整理(進行中)

キタハマミズム運営管理

(2021／R3年度)

- ・予約サイト作成・公開

(2022／R4年度)

- ・社会実験の予定が前日に中止(知床事故以降の小型船ルール厳格化)
- ・運用に於いて課題整理 舟寄場について懸案だった水上安全協会との再協議を実行。指摘内容を反映した上、また協議へ。
- ・大阪府都市魅力創造局 魅力づくり推進課と協議
係留場の水面占用許可(西治水→府都市魅力)について、協議会への占用許可移管について協議した結果、3年間の許可期限が2023.5末までだったが、まずコロナで止まっていた舟寄場の社会実験を進めた後に係船場の運用を行うということで、2023年度以降も現在と同じ体制で占用許可を受けられることとなる。

キタハマミズム運営管理

(2023/R5年度)

- ・中之島まんぷくクルーズ祭を契機にミズム運用開始！
- ・長らくコロナで止まっていた水都大阪コンソーシアム主催のイベントが再開。ローズポート(中之島公園)、八軒家浜船着場、ほたるまち港の3会場でグルメを楽しめ、会場間を船でつなぐ。この機にキタハマミズム舟寄場も運用開始。
- ・水上安全協会と協議。利用ルール合意。運行船会社限定。



北浜に舟寄場がOpenしました！

こんなにキレイだったっけ。用から見る大阪はもっと素敵です。2008年に始まった「もっとうに繋がりたい」アクションをさらに進化させ、テラス店だけでなく北浜界隈と、川の先にある各地の水辺施設をつなぎます。

まずは社会実験
水辺を熟知した船で実験を兼ねて、安全で便利な運用が確認できれば、広く舟を公募します。

乗船する場合
着岸可能船とキタハマミズム(以下ミズム)舟寄場利用計画を立てる
→船会社に予約してもらう。
→当日利用する。(管理運営協力金2000円/1着岸)

●船は自然のゆりを受け、風天による中止にご理解ください。
●社会実験中は不備点の改善などアンケートでお答え頂き、安全便利なミズムづくりにご参加頂きます。

乗船しない場合
視察のみでも運営協力金を頂ければ幸いです。事務局までご連絡下さい。
社会実験終了後、着岸可能登録船を公募します。
但し小型船に限り。



キタハマミズム運営管理

(2024/R6年度)

- ・告知リーフレット作成(2,000部)
- 協議会外の北浜店舗にも1,400部配布



- ・川床開きクルーズ(2025.3.19)
- (2025/R7年度)

- ・舟寄場洗浄機器等備品購入

- ・キタハマミズムライトアップ
- (毎年)



12/10-16「ブルーリボン」(北朝鮮拉致問題) 大阪府人権局
「ピンクリボン」(乳がん啓発)大阪府

水辺の新たな風物詩

■北浜河川敷清掃

(2021 / R3年度)

2022.3.22

(2022 / R4年度)

2023.3.17

(2023 / R5年度)

2023.10.5

(2024 / R6年度)

2024.11.11

(2025 / R7年度)

2026.1.20予定



水辺の新たな風物詩

■川床開き 川床安全祈願 水辺の安全

(2021 / R3年度) 2022.3.25 @Brooklyn Roasting Company

(2022 / R4年度) 2023.3.24 @北浜1丁目平和ビル

(2023 / R5年度) 2024.3.19 @ノースショア

(2024 / R6年度) 2025.3.19 @キタハマミズム



2021



2022



2023



2024

プロモーション

オウンドメディア (WEBサイト、チラシ)

2021年度

コロナ、特にサイト更新なし

2022年度

SHOP GUIDE 2022-23作成

2023年度

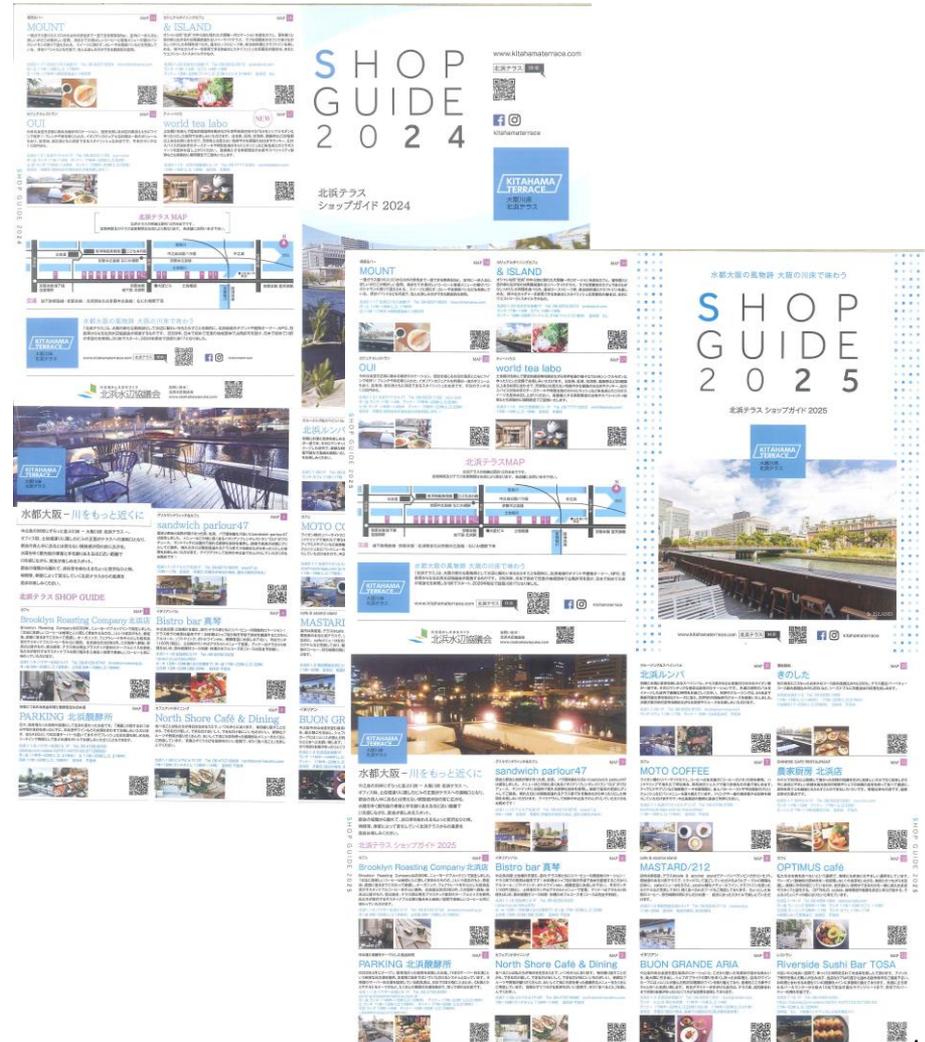
SHOP GUIDE 2024作成

2024年度

SHOP GUIDE 2025作成

2025年度

SHOP GUIDE 2026作成



プロモーション

1)中之島エリアの方々との対話イベント

2022.2.9 PM19時～21時

場所:MOUNT



2022
2/9

サーチプロジェクト

北浜テラス×クリエイティブアイランド中之島スタディーズ 「川床から眺める中之島」の魅力

日付 : 2022年2月9日
時間 : 18:30 - 20:00 (受付・開場18:15)
会場 : MOUNT kitahama (大阪市中央区北浜2-1-17)
定員 : 20名程度 (要チケット購入・先着順)
申込 : ウェブフォーム
登壇者 : 北浜水辺協議会理事
Oui、Optimus cafe、
Brooklyn Roasting Company Kitahama、
&Island、MOUNT kitahama
水辺のまち再生プロジェクト/水辺不動産
大阪市立東洋陶磁美術館
こども本の森 中之島
ファシリ : 村川晃一郎 (graf)
テーター 木ノ下智恵子 (大阪大学、アートエリアB1)
料金 : ¥1,500 (1ドリンク付)

イベント概要

中之島の対岸に位置する北浜には、川床を併設した店舗が並ぶ北浜テラスがあります。国内初の川床の常設化を実現した北浜テラスの店舗や中之島の文化施設が集い、北浜テラスの成り立ちや水陸連携による新たな可能性などについて対話を繰り広げます。

パブリシティ

テレビ、雑誌、新聞などへの掲載



2021年4月発行



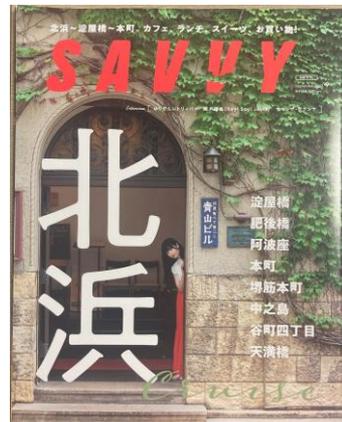
江戸楽 NO.156 2022年4月発行



OMLETS!(OsakaMetro沿線情報誌)



MIZUBERING SPOT 2024



SAVVY
2023年9月号



大阪DC



会報 河川文化
第106号

水都パートナーズ 他イベント、他団体 との連携

他団体への参加

2022年度

- ・「光のルネサンス」協力
- ・「音楽パフォーマンス船航行by水都大阪コンソーシアム」リーフレット設置協力
- ・「北浜蚤の市」協力

2023年度

- ・4年ぶりに天神祭りの船に協議会から献酒

2024年度

- ・松本市視察団も一緒に献酒
- ・船場まちづくり検討会、大阪市建設局の社会実験シェアドストリート(歩行者車道の共存)をめざして
- 「博労町オープンストリート2024 Part2(船場倶楽部)」



視察対応

視察対応・講演

- 摂南大学 経済学部 経済学科 学生 2022
- 「西村幸夫 町並み塾 in 金沢」(山根講演) 2022.10.22
- NTTアーバンソリューションズ 2023.9.27
- 国土技術政策総合研究所 2023.11. 28
- 大阪大学工学部 建築学科(山根講演) 2023.10.13
- 長野県松本市 2024.7.24
- 台湾行政組織 2024.10.16
- 神奈川県横浜市 2024.12.17



組織強化(会員間の連携強化)／会員ヒアリング

2023～24年度

- ・北浜テラスヒアリングを実施 2023.9.7～ 編集者に委託
- ・協議会の今後の活動の方向性を探るため実施。
- ・普段の会議では話せないことや、事情で会議に参加できない方の意見なども含め、会員それぞれに忌憚なく意見を述べてもらうため 外部の会社に委託して、個別にヒアリングを行いテラス店舗12店からヒアリングレポートを回収。分析した。

組織強化(会員間の連携強化) / 会員ヒアリング

ヒアリング 前年度からの会員ヒアリングの結果が出た。否定的な意見はほとんど無い一方、内容が難しく参加しづらいと感じている会員が多いことがわかった。その解決に向けた建設的なご意見は5つに集約できた。

- ①自分が積極的に協議会運営に関わりたい
- ②親睦会開く、親睦を図る
- ③会議での意見言いやすく
 - 1)意見言いやすい雰囲気
 - 2)やさしく教えてほしい、前提情報をわからないと言にくい
- ④テラス運用ルールを理解しているかどうか
- ⑤北浜テラス以外のエリア内店舗が参加できるイベントを新たに企画する

組織強化(会員間の連携強化) / 会員ヒアリング

新年会 を実施

2025.2.28

協議会内の会員親睦のため実施。

場所 Bistro bar 真琴

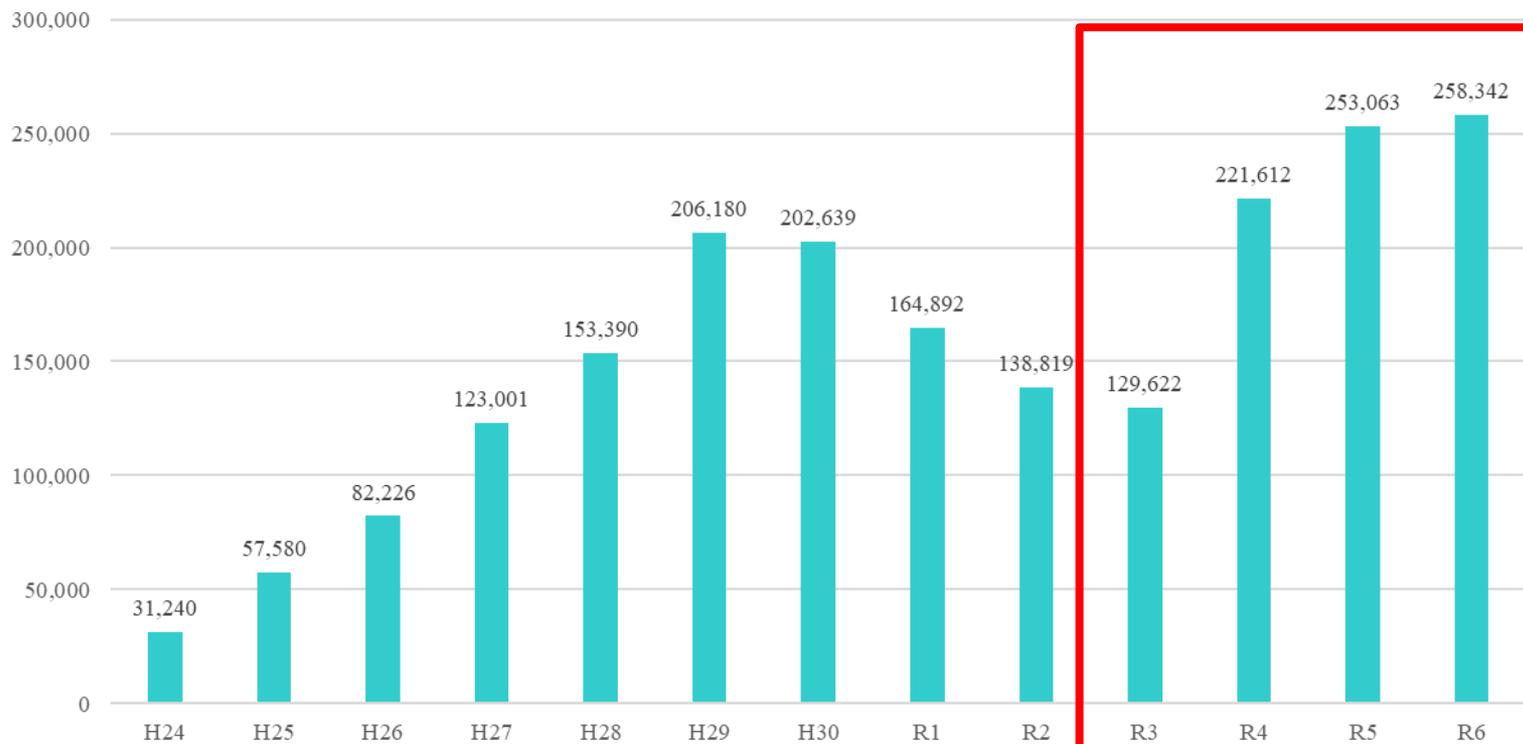
参加者 22名(予約19名 + 飛び入り)



北浜テラス利用者数 2021～24(R3～6)年度4/1～3/31

過去最高
25.8万人
の利用！

北浜テラス利用者数の推移(テラス部分のみ)



R6	25.8万人
R5	25.3万人
R4	22.2万人
R3	13.0万人
R2	13.8万人
R1	16.4万人
H30	20.2万人
H29	20.6万人
H28	15.3万人
H27	12.3万人
H26	8.2万人
H25	5.7万人
H24	3.1万人

2021～25(R3～7)年度の活動総括

- ・2021～24年度は、川床1軒増(計17店舗1展望台18川床)。初めて3丁目に川床ができる。利用者はコロナ影響の減少を経て2024年度は過去最高となった。
- ・コロナ禍によりテラス利用者数が低迷し、大阪府からのコロナ関連要請を共有し、協議会活動もオンラインやメールに切り替えるも活動が難しい状況だった。ただ、復活は早かった。
- ・会員の協議会運営への理解や参加を図るため、会員へのヒアリングを実施し、課題解決への動きにつなげた(積極的参加希望者の参画、親睦会、ルールのわかりやすい解説など)。
- ・「キタハマミズム」の運用を開始した。水上安全協会との協議により、現在は限られた舟運会社のアクセスで試行中。